

# ひなの家押野通信第20号

## 木戸さん、誕生会でバイオリンを演奏 わが音楽人生に悔いなし

利用者で、バイオリン歴70年余の木戸博也さんが6月の誕生会で得意のバイオリン演奏を披露し、誕生日を迎えた利用者をお祝いしました。素晴らしい演奏に利用者は聞きほれていました。

誕生会で、木戸さんは持参したバイオリンで、「ハッピーバースデートゥーユー」を手始めに、「朧（おぼろ）月夜」「四季の歌」「見上げてごらん夜の星を」を続けて演奏しました。見事な演奏に大きな拍手が送られました。

木戸さんは、バイオリンを弾いていた父の影響を受け、子どもの頃からバイオリンに親しんでいました。中学生のころ、金沢市内の有名な指導者に教わる事ができ、スキルが格段に向上しました。東京音楽を卒業後、地元の金沢工大の

音楽講師などをしています。30代後半にバイオリンを学ぶため3年間、ドイツ留学を経験しています。音楽塾も主宰し、子どもたちにもバイオリンを教えています。

80代後半になつたいまでも「毎日、基礎練習を欠かさない」という木戸さん。「ずっとバイオリンを肌身離さず、そば置いて暮らしてきました。とてもいい指導者に恵まれたことが幸運でした。私のバイオリン



バイオリンを弾く木戸さん



野々市市押野1-31  
電話076(287)5810



演奏に耳を傾ける利用者

### 四季を撮る

### 茅の輪くぐりに無病息災を願う

初夏のある日。押野にある高皇産霊（たかみむすひ）神社の境内に、直径2m余もあるカヤの大きな輪が設けられ、利用者がくぐりました。

茅（ち）の輪と呼ばれ、これをくぐると、心身が清められ、無病息災、家内安全といった願いがかなうそうです。



人生に悔いはありませんと振り返ります。

### 利用者夫妻のお別れ会兼ね昼食会

今年1月からホームを利用していたご夫妻が7月同じグループの老人ホーム「ひなの家彩」に移る事になり、お別れ会を兼ねた昼食会がありました。

昼食には、ご夫妻の好物の「うなぎ丼」が利用者みんなに振舞われました。ご夫妻は半年余、宿泊を利用。穏やかな人柄から、誰からも好かれていました。ご夫妻は「利用者やスタッフの方々大変お世話にな



うなぎ丼を食べる夫妻

り、楽しく過ごしました」と話していました。



# 秋田施設長が小規模多機能の好事例報告 日本在宅薬学会シンポジウムで講演

金沢市内で7月中旬に開かれた第14回日本在宅薬学会学術大会のシンポジウムに秋田利恵施設長が講演しました。

秋田施設長は、「多職種で支える」珠洲に帰りたい」と題して、ひなの家押野で看取りまでホ-

ムを利用した珠洲出身のKさんの支援についての事例を報告。「通い」を中心とした「訪問」や「泊まり」のサービスを一体的に提供する小規模多機能ホームの柔軟性を生かして、脳腫瘍という難病を抱え、最期まで自宅で療

養できたケースを振り返りました。座っていることさえ、つらくなってきたKさんが「もう一度だけ、珠洲に帰りたい」との思いをかなえるため、1泊2日で珠洲までドライブしたことも話しました。亡く

なる1カ月前には、薬剤師や看護師などの専門職チームが多職種連携で一致団結し、支えることができた」と強調しました。(報告事例は、家族の了解を得ています)

橋谷管理者も講演  
医療と介護の連携  
オンデマンドで成果発表



シンポジウムで意見を述べる秋田施設長



講演する秋田施設長



応援うちわも登場

同大会で、橋谷美智子管理者は「写真②が「不安だらけから輝く笑顔」と題して医療と介護の連携した事例を報告しました。当初、高次脳機能障害を患いながら、服薬がきちんできていなくて、症状が不安定でした。訪問リハビリと居宅療養管理指導を地域密着型介護サービスに追加し、多職種連携で支援した結果、症状が安定、回復してきた成果を発表しました。

## ジンギスカン料理でさよならパーティー 帰国のモンゴル留学生が感謝の気持ち込める



3月から週1回、介護の手伝いに来ていたモンゴル留学生2人が帰国するため、さよならパーティーを開催。利用者にジンギスカン(ラム肉)料理を振る舞いました=写真。2人は「短い期間でしたが、ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

## 夏祭り(8月中旬)を前に盆踊りの練習 「食べ物」や「遊び」のコーナーも

夏祭りが8月中旬にホームで開催されるのを前に、利用者が盆踊りの練習①写真②に励んでいます。祭りのちょうちん飾り②

写真①、看板などを利用者が作り、準備に余念がありません。祭りは食べ物コーナー(焼き鳥、たこやき、や



### ◎ 編集後記

ひなの家押野通信が8月号で20号になりました。利用者中心にホームの出来事を取り上げようと努めてきました。発刊と同時にコロナ禍が進展。行事がほとんどできない月もあり、記事に苦勞したこともあり。これからもあります。これからは「温まる」のコーナーを発信していきたいと思えます。(浦上)